

# 改選後、初の議会で新年度予算決まる

平成31年  
3月定例会

## あらまし

平成31年3月定例会は、2月27日から3月27日まで29日間の日程で開催されました。市長専決処分の報告1件、市長から提出された議案86件、議員提出議案1件があり、報告と人事案件等を除く一般議案は所管の常任委員会へ、平成30年度補正予算及び平成31年度予算は予算常任委員会へそれぞれ付託されました。体育施設条例の一部改正については修正案を可決し、そのほかの議案は原案のとおり可決しました。

### 建設工事委託に関する基本協定の締結

伊川市物開沢水質管理センター再構築第一期建設工事委託に関して、日本下水道事業団と8億4900万円の基本協定を締結するものであります。全員一致で可決しました。

### 人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員である野村直司氏の任期が令和元年6月30日で満了となるため、同氏を引き続き候補者として推薦するものです。全員一致で同意しました。

### 伊川市農業委員会委員の任命の同意

農業委員会委員の任期が

平成31年3月31日に満了となるため、平成31年4月1日からの委員を任命しようとするものです。新委員は、岸正二氏、青木明雄氏、大島アサ子氏、高橋昭彦氏、眞下謹司氏、野村隆氏、斎藤美保氏、飯塚敬子氏、山本彰一郎氏、角田壽一氏、須田和敏氏、高井眞佐実氏、新井正喜氏、鳥山孝子氏、齊藤由香氏、星野安久氏、下田三徳氏、石田玉枝氏、廣瀬淳氏、以上19名で、そのうち6名が女性委員となります。全員一致で同意しました。

### 伊川市教育委員会委員の任命の同意

教育委員会委員の任期が

令和元年5月19日に満了となるため、新たな委員として今井悦子氏を任命しようとするものです。全員一致で同意しました。

### 市長及び副市長の給料の減額

厳しい財政状況であることから平成31年4月1日から1年間について、給料月額を市長は78万3000円、副市長は69万8000円とするものです。多数決で可決しました。

### 教育長の給料の減額

厳しい財政状況であることから平成31年4月1日から1年間について、給料月額を63万1000円とする

ものです。多数決で可決しました。

### 平成30年度補正予算

一般会計補正予算については、歳入歳出それぞれ5211万円を追加して、総額376億1960万円とするものです。全員一致で可決しました。

特別会計補正予算についても、すべて全員一致で可決しました。

### 平成31年度予算

平成31年度一般会計予算は、375億5300万円

で、前年度から23億5800万の増額とするもので、多数決で可決しました。

主な新規事業は、夏に行

われる県知事選挙3594万1000円、参議院議員選挙3741万9000円、イベント誘致事業1100万円、地域公共交通網形成計画策定事業1801万1000円、高齢者移動支援事業481万4000円、地域のまつり等応援事業100万円、子育て世代包括支援センター（基本型）事業472万4000円、はじめの英語ふれあい事業243万円、地域密着型サービス施設整備補助事業5820万7000円などとなっています。

各特別会計10件と、水道事業会計についても、すべて原案のとおり可決しました。

# 常任委員会の審査

## 総務市民

### 財産の減額貸付について

旧刀川小学校校舎及び体育館、土地を民間事業者へ減額して貸し付けるものです。全会一致で可決しました。

**質疑** 体育館については耐震補強がなされていない。こちらの利用はどのように事業者と協議しているか。もしくは耐震補強をいずれ行う予定なのか。

**答弁** 倉庫として利用する運営方針ですが、危険のない運用をするよう事業者と再協議を行います。市の負担で耐震補強を行う予定はありません。

**質疑** 借地であるプール部分についての今後の予定は。

**答弁** 教育委員会が地権者と交渉を行っています。

### 洪川市体育施設条例の一部を改正する条例

消費税法及び地方税法の改正に伴う使用料の改正、大日向いこいの公園運動場の体育施設への移管、既存施設の名称変更を行うものです。そのうち「洪川市赤城総合第2グラウンド」の名称を改める部分を削除する修正案が出され、修正案について全会一致で可決しました。

### 洪川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

旧被扶養者に係る減免期間の見直しに伴い、所要の改正をするものです。全会一致で可決しました。

## 経済建設

洪川市物産水質管理センター再構築第一期建設工事委託に関する基本協定締結

全会一致で可決しました。

**質疑** この件は入札審査会にかけてあるのか。

**答弁** この基本協定は随意契約で行っているので審査会は実施していません。

**質疑** 随意契約は入札審査会にかけなくてよいのか。

**答弁** 起案をし、市長の決裁を受けて執行しています。

### 洪川市営駐車場条例の一部を改正する条例

市営洪川駅前第2、第3駐車場の使用料を減額するものです。全会一致で可決しました。

**質疑** 今回、洪川駅前第2駐車場が1000円から800円に下がる。その前に第3駐車場を1000円から500円に下げたが、効果はあったのか。

**答弁** 洪川駅前第3駐車場を1000円から500円に下げたことよって、平成29年から30年の利用台数が約2倍になりました。したがって、今回1000円から800円に下げることによるメリットは大きいと

考えています。

## 教育福祉

### 洪川市ふるさと文化基金条例の制定

本市の文化遺産の保存、伝承及び活用を図るために基金を創設するものであり、全会一致で可決しました。

**質疑** 基金の使用目的は。

**答弁** 郷土にゆかりのある方々を顕彰するものであり、偉人の紹介、冊子の発行等に使用する予定です。

### 洪川市教育委員会教育長の給与に関する条例の一部を改正する条例

教育長の給料月額を減額するための条例で、多数決で否決しました。

**質疑** 厳しい財政状況下であることにより減額とあるが、そんなに役に立つとは思えないが。

**答弁** 市長、副市長の減額もあり、少しでもという教育長の意思によるものです。

## 予算

一般会計及び国民健康保険など4特別会計補正予算は、すべて全会一致で可決しました。

### 中学生海外派遣事業

**質疑** 委託料の減額の理由は。希望者の状況は。

**答弁** 減額は入札差金です。希望者は、今年度定員20名に対して46名でした。

### あんしん見守り緊急通報システムサービス事業

**質疑** 減額補正だが、一人暮らし世帯も増加している。当然利用者も増加してよいはずである。内容に問題があるのでは。利用するには、固定電話回線が必要。低価格な携帯電話に替えている世帯も増えている。内容を見直すべきでは。

**答弁** 減額の内容は入札差金です。また利用者の減少によるものです。ご指摘の内容など今後検討します。

## 平成31年度(令和元年度) 各会計予算

区分		予算額	増減 (対前年比)	
一般会計		375億5,300万円	23億5,800万円	
特別会計	国民健康保険	(事業勘定)	91億776万円	
		(診療施設勘定)	1億4,700万円	
	後期高齢者医療	11億7,097万円	9,878万円	
	介護保険	87億7,014万円	2億928万円	
	農産物直売事業	264万円	△124万円	
	伊香保温泉観光施設事業	2億3,835万円	6,621万円	
	小野上温泉事業	3,677万円	231万円	
	交流促進センター事業	2,013万円	1,415万円	
	下水道事業	26億8,540万円	1億561万円	
	農業集落排水事業	11億9,039万円	5,374万円	
	個別排水処理事業	2,779万円	319万円	
	水道	収益的支出	18億7,945万円	5,117万円
		資本的支出	13億4,189万円	△2,423万円

## 平成31年度予算案の審査

平成31年度茨川市一般会計予算、国民健康保険特別会計予算、後期高齢者医療特別会計予算、介護保険特別会計予算は多数決で原案のとおり可決しました。ほか8議案については全会一致で原案のとおり可決しました。

### 基金運用について

**質疑** 基金運用では最も安全かつ確実な方法で運用しなければならぬ。どのような運用方針か。

**答弁** マイナス金利の金融情勢において、厳しい利回りです。元本を減らすことは許されません。日々金融機関などの情報を基に注視しています。

### PR動画情報発信事業

**質疑** 2年間行ってきた事業だ。大幅な減額の理由は。  
**答弁** 毎年3000万円近くの経費がかかっています。内容を見直し、より効果的な情報発信を行っていきま

### プレミアム付商品券

**質疑** 市独自の取り組みで対象者を広げる考えは。  
**答弁** 国の方針を見定めて対応していきます。

### 高齢者移動支援事業

**質疑** 75歳以上で免許を持たない人を対象にタクシー

券を補助する事業だが、予算の対象者数が少ない。申請者が増えたときは、補正予算を組んで対応を。  
**答弁** 実証調査をして予算計上しているが、足りなくなった場合は早急に対応していきます。



高齢者移動支援タクシー券

### 子育て世代包括支援センター I (基本型・母子保健型)

**質疑** 妊娠時から子育てまで切れ目のない支援体制が望まれる。保健師や助産師、精神福祉士など専門職で対応すべき。いかに相談しやすい体制をつくるかが大事だが、どのように行うのか。SNSを活用した取り組みは。

**答弁** 母子手帳交付時がまず鍵だと考えます。わかりやすい周知に努めます。まずは電話などで対応します。

### 指定ゴミ袋の対応は

**質疑** 市がゴミ袋を作成する根拠は。民間で安価に作成する取り組みは。  
**答弁** 根拠は合併時の取り決めです。作成については、他市の状況を調査し研究していきます。

### 移住者住宅支援事業

**質疑** これまで申請して支援が受けられなかった人はいるか。この後の対応は。  
**答弁** 今年度は1件ありました。他市などの状況も踏まえ検討していきます。

### 液体ミルクを防災備蓄品に

**質疑** 全国に先駆けて液体ミルクを備蓄する。賞味期限が短いが対応は。  
**答弁** 保健センターに使い捨ての乳瓶とともに備蓄します。賞味期限が近づいているものは、防災訓練などで市民に配布します。



## ラリーチャレンジ

**質疑** モータースポーツを

活用した地域活性化の取り組み。市を挙げてこの事業に取り組みたい。

**【答弁】** これまで4回開催され、昨年は1万4000人が集まりました。ふるさと納税などを活用して、全日本ラリーなども開催していきます。

## 小中学校不登校対策（ウオームアップティーチャー）

**質疑** 不登校の生徒を支援

する事業だが、どのような人材を活用するか。

**【答弁】** 人生経験豊かな教職経験者を想定しています。どこまでも生徒に寄り添える人をお願いしていきたいです。

## 上三原田歌舞伎200年祭

**質疑** 実行委員長は市長だ

が、補助金を出す人と受ける人が同じでよいのか。  
**【答弁】** 職務代理を立てるの  
で、双方代理にはあたりま  
せん。

## 【主な新規事業】

- (1) kirariしぶかわ発行事業
- (2) 渋川市移住支援金事業
- (3) 乗合バスモニター事業
- (4) 子育てにやさしいまちPR事業
- (5) 住宅用スマートエネルギー機器設置助成事業
- (6) 骨髄ドナー支援事業
- (7) 新規就農推進事業
- (8) 森林経営管理事業
- (9) ため池防災減災事業
- (10) 詐欺被害等対策事業
- (11) 渋川市プレミアム付商品券発行事業
- (12) 地場産業後継者育成支援事業
- (13) 群馬DESTINATIONキャンペーン実施事業
- (14) アニメツーリズム推進事業
- (15) 渋川伊香保温泉手ぶら観光実施事業
- (16) 災害に強い道路整備事業
- (17) JR渋川駅周辺地域再生構想策定事業
- (18) 小中学校不登校対策事業
- (19) 学ぶ楽しさを味わうICT活用推進事業
- (20) ふるさと渋川再発見事業

## 討 論

「平成31年度渋川市一般会計予算（議案第73号）について」

### 賛 成

本予算案は選択と集中の観点から、限られた財源を重点的に配分するものである。

市民の安全で安心な暮らしづくりを進めると共に、身近な生活環境の整備を行い、当面する緊急的な課題へ即時に対応する施策が充足された。中心市街地のにぎわい創出や魅力ある観光地づくり、市債の繰上償還、遊休資産の有効活用などを推進し、将来に向け種をまく施策へも取り組む。今後、厳しく慎重な財政運営が求められるが、積極的な財政改革を求め賛成討論とする。

### 反 対

3月定例会で行われた主な討論について、概要を報告します。討論とは、議案等を議決するために賛成・反対の意見を述べることを言います。

今年度の予算は免許証を持たない高齢者に対するタクシー券を年間48枚発行、学校給食費の完全無料化の継続等、市民の願いに寄り添う姿勢は評価できるが、10月から消費税10%への引き上げを見込んだ予算である。産業廃棄物である鉄鋼スラグの処理は、期限のない将来まで先送りせず、法に基づき渋川市の費用で撤去を行い、費用を原因者に請求すべきである。民間譲渡前提の温泉・公共施設の存廃については、住民参加の検討会設置などを強く求め、反対討論とする。

## 議員全員協議会のあらまし

渋川市新市建設計画事業の進捗状況について

平成29年度末時点で、501事業のうち完了142事業、実施中174事業、中断17事業、廃止83事業、検討中74事業、未着手11事業との説明がありました。

予算状況を勘案し、速やかな事業着手、完了を期待したい。

イベント誘致事業の取組状況について

本市の経済活動を活性化させるためには、市外からの交流人口を一層拡大する必要があるので、「市民会館改修・イベント誘致係」を設置し、各種イベントに関する相談・誘致機能の強化を図ることとした。大規模改修を行っている市民会館、昨秋リニューアルした総合公園陸上競技場、令和5年度本格活用を目指す中村緑地公園などを生かすイベント等を誘致していくとの説明がありました。